

平群町子ども読書活動推進計画

子どもと本をつなぐレインボープラン



平成25年3月

平群町教育委員会

目 次

はじめに 平群町教育委員会 教育長 森井恵治
平群町子ども読書活動推進計画を策定して
平群町子ども読書活動推進計画策定委員長 窪 和子

第1章	基本的な考え方	
1	赤ちゃんから中学校までの一貫したシステム	1
2	読書環境の整備	
3	町全体としての連携・協力体制	
4	推進計画の期間	
	平群町子ども読書活動推進のイメージ図	2
第2章	現状・課題・展望	
1	乳幼児・就園前児	3
2	保育園・幼稚園	5
3	小学校・中学校	8
4	町立図書館	19
5	地域で活躍するボランティア	21
第3章	推進に向けての取組	
1	「平群町子ども読書活動推進委員会」の設置	26
2	連携・協力体制	
3	学校図書館の機能充実と活用	
4	町立図書館の整備拡充	
5	広報と啓発	
6	評価と計画の見直し	
資料編		
	・平群町子ども読書活動推進計画策定経緯	27
	・平群町子ども読書活動推進計画策定委員名簿	28
	・平群町子ども読書活動推進計画ワーキング会議名簿	29
	・平群町子ども読書活動推進計画策定に ご協力いただいたボランティア団体・個人	30
	・学校図書標準	31
	・子どもの読書活動の推進に関する法律	32
	・文字・活字文化振興法	34

はじめに

国は、子どもの健やかな成長を願い、2000年の子ども読書年を契機として、平成13年に「子ども読書活動の推進に関する法律」を制定しました。その後平成15年に「奈良県子ども読書活動推進計画」が策定され、続いて県内の市町村が各自の「子ども読書活動推進計画」を策定推進してきました。

平群町ではこれまで、地域文庫やおはなし会などの活発なボランティア活動の歴史があり、学校・園や健康保険課、公民館図書室（平成17年まで）町立図書館（18年以降）とともに、子どもの読書活動を支援してまいりました。そして、本町でも平成20年度より、国や県の計画を受けて、子ども読書活動推進計画の策定会議が始まりました。策定期間には、視察研修や平群町の子どもたちの読書を取りまく現状の調査分析を行いました。併せて子ども読書活動にかかわる大きな事業も進めながら、計画内容の検討を重ね、今ここに、町ぐるみで子どもたちの読書活動を支援推進していこうという計画書が出来上がりました。

本推進計画の対象となる平群町の乳幼児から中学校卒業までの子どもたちは、約2,200人、全人口の11%です。（平成24年10月31日現在住民基本台帳）少子高齢化社会が進む中、これらの子どもたちが、健やかな心と知力を備え、元気に育っていくことは、平群町にとりましても大きな希望です。本計画では、5年という期間を設け、あらゆる機会にあらゆる場所で自発的に読書活動ができるように、発達段階に応じた環境整備やネットワーク体制を進めていこうというものです。平成25年度より進められる平群町の第5次総合計画にも位置づけ、平群町の教育目標「小さな町で大きな教育を」の取組の一環として、平群町のみなさんに周知ご理解をいただきながら推進してまいります。

末筆になりましたが、本策定にご尽力・ご協力いただきました関係者の皆様へ厚くお礼申し上げますとともに、今後の推進事業実施につきましても同様のご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

平成25年3月

平群町教育委員会
教育長 森井恵治

平群町子ども読書活動推進計画を策定して

読書は、次代を担う子どもが想像力や思考力を培い、他人を思いやる心など豊かな人間性を育む源泉であり、人生をより深く生きていく上で欠くことのできないものです。

近年、「本離れ」「活字離れ」が指摘されて久しいですが、平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、子どもが健やかに成長していく上での読書活動の重要性が、改めて認識されています。また、本などの活字にさらに親しみやすい環境をつくることを目的に、平成17年には「文字・活字文化振興法」が施行されました。考えてみれば、私たちが今でも、はるか昔の文学を目にすることができるのは、文字・活字文化のおかげであり、本に親しむ環境づくりは着実に進んでいます。

本町では、小中学校において「朝の10分間読書運動」や、家庭や地域における読み聞かせ、赤ちゃんの健診時に絵本をプレゼントする「ブックスタート運動」も定着しています。また、こういった活動は多くのボランティアの皆さまの献身的な取組のおかげと、心より感謝しております。

この度、国や県の計画を踏まえ、本町の取組をさらに進めるために、「平群町子ども読書活動推進計画」を策定しました。この計画は、平群町の子どもたちの豊かな読書環境を整備することを目標に、平成25年度から5年間にわたる本町の子どもの読書活動推進の指針となるものです。サブタイトルとして「子どもと本をつなぐレインボープラン」とし、今後、家庭、学校や園、ボランティア、役場、図書館が連携体制をさらに深め、拠点となる学校図書館、町立図書館の充実を進めて参ります。

結びに、この計画の策定にあたりましてご尽力を賜りました「平群町子ども読書活動推進計画策定委員会」の委員の方々をはじめ、多くの関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

平成 25 年 3 月

平群町子ども読書活動推進計画策定委員会
委員長 窪 和子